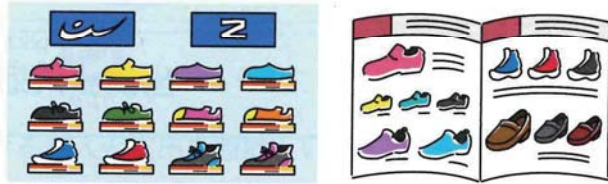


1 いろいろな購入方法

学習の目標

- 店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。

スニーカーが欲しいとき、あなたはどのようなところで購入しますか。それはなぜですか。



小学校での学び

店舗での購入を中心に、買い物のしくみを学習しました。

どこで買うか

商品の販売方法には、専門店やスーパーマーケットなどの店舗で、直接消費者に対して商品を販売する**店舗販売**と、通信販売や訪問販売のように店舗を持たずに販売する**無店舗販売**があります。それぞれの販売方法には、利点と問題点があり、消費者はこれらの販売方法を利用して商品を購入します(6図)。

6図 いろいろな購入方法とその特徴

店舗販売 (小売店等) による購入	無店舗販売による購入		
<ul style="list-style-type: none"> ● 専門店、百貨店 ● スーパーマーケット ● コンビニエンスストア ● ディスカウントストア ● 消費生活協同組合の店舗 など <p>・商品を直接見てほかの商品と比較して購入できる。</p>	<p>通信販売</p> <p>インターネットや、カタログ、テレビ、新聞、雑誌などを通して買う。</p> <p>・実物を直接見たり、試したりすることができない。</p> <p>・送料が必要な場合が多い。</p>	<p>訪問販売</p> <p>家庭を個別に訪問してきた販売員から買う。</p> <p>・断りにくく、不要なものを買ってしまう。</p> <p>・他の商品と比較しにくい。</p>	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動販売機による販売 ● 生産者との直接契約 ● 消費生活協同組合の共同購入 ● 移動販売 など

参考：全国消費実態調査購入先分類基準



移動販売は、過疎(かそ)化で店舗販売が減少したり、高齢のため自分で買い物がしにくくなったりしている人々への対策としても利用されています。店舗で購入したものを自宅まで届けてくれたりするサービスもあります。

多様化する通信販売

通信販売では、店舗に行かなくても手軽に買い物ができます。通信販売の情報源は雑誌やチラシのほか、インターネットやテレビ、ラジオなどさまざまです。

申しこみの方法もはがきや電話、ファックスのほか、パソコンやスマートフォンも使われています。たとえば、日用品や食料品をインターネットで注文したり、音楽や動画などをスマートフォンにダウンロードしたりすることも通信販売の利用です。

手軽に買い物ができる反面、トラブルも起こっています(7図)。

memo

通信販売 — 購入前の確認ポイント

注文前にもう一度落ち着いて考えてみよう。

- ・信頼できるか(たとえば、ジャドマークがあるかどうか)。
- ・販売者の所在地や連絡先などの情報があるか。
- ・返品、申しこみの取りやめ(解約)が可能か、可能な場合はどのような条件か。
- ・本当に購入する必要がある商品か。

JADMA 協会の定めた基準を全て満たした通信販売事業者がつけられるマーク。通信販売を利用する際の安心・信頼のめやすとなる。

公益社団法人日本通信販売協会
ジャドマーク



通信販売会社に集まった個人情報外部にもれることはないかな。



7図 トラブルの例 — 通信販売の場合

通信販売の場合



頼んだものどちがうものが届いてしまい、販売した会社に連絡しようとしたが、電話もメールもつながらなかった。



お金を支払ったのに商品が届かない。



「絶対に背が伸びる」というサプリメントを買ったが、効果が出なかった。



商品が届いたが壊れていた。



通信販売の売上高推計は10年間でおよそ2倍に増えています。



社会/公民的分野
「身近な消費生活と経済活動」



インドの環境マーク

参考

売っているのは消費者?

会社や店舗(事業者)などから購入するだけでなく、フリーマーケット(不要品売買)のように消費者同士で取引を行う場合があります。これをインターネット上で行うしくみもあります。消費者同士の取引は、消費者契約法(⇒p.250)など消費者を保護する法律の対象外となります。